

歴史地震学×地震地質学

—史料地震学と地形地質学の接点からさぐる 古地震学のフロンティア—

(Ⅳ) 地震研究における地形および地理空間上の データ整備と歴史情報の活用

1. 小松原 琢・服部健太郎・松多信尚
特集号「歴史地震学×地震地質学」(Ⅳ)
地震研究における地形および地理空間上のデータ整備と歴史情報の活用
2. 大邑潤三
地震史料の GIS データ化の意義と課題
3. 安藤亮輔
コミュニティ断層モデルの構築と公開：3次元非平面断層モデルのもたらす地震研究の新展開
4. 後藤秀昭
海底活断層の認定方法の転換と地震予測
—沿岸域およびプレート境界の変動地形—
5. 中埜貴元
地震・活断層研究における数値標高モデル (DEM) の有効性と展望
6. 石橋克彦
歴史地震研究における文献史的・地学的・考古学的手法の連携の問題点
7. 小松原 琢
非文献史料を用いて「活断層が動かなかったこと・動いていない年代」を把握する試み

筆者：1. 琵琶湖博物館・関西大・岡山大、2. 東大、3. 東大、4. 広島大、
5. 国土地理院、6. 神戸大、7. 琵琶湖博物館